



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 12:30~13:30
ホテル阪奈
〒574-0012 大東市龍間266-8
TEL : 072-869-0181
FAX : 072-869-0105

■会長:庵谷和宏 ■幹事:大和田雅江 ■会報委員長:荒金正之



Rotary Opens Opportunities

RI会長 ホルガー・クナーク

2020~2021年度

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは機会の扉を開く

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

コロナ期間 臨時会報 令和 3 年 5 月 20 日

※不定期発行



【 会員の皆さんの近況報告 】



「コロナ過の近況報告」

大東 雅代 会員

コロナ禍で不便な生活が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私も不要不急の外出は出来るだけ控え、自粛生活を送っています。

大阪では感染者が1000人近く出る日が続き、インドやイギリスの変異ウィルスが増え続け、暗いニュースばかりで、本当に気が滅入りますね。

家にいても暇を持て余すだけだと思っておりましたが、好きな本を読んだり、運動不足を解消するため、早朝散歩に出かけたり、古い洋服や本の断捨離をしたり、録りためていた映画やドラマを観たり（山田太一脚本のテレビドラマ、『岸辺のアルバム』が印象的でした）、好きな事に時間を費やす事が出来ました。

それから、今までほとんどYouTubeを見る事がなかったのですが、最近では見る機会が増え、毎晩語学や旅行、あと大好きな動物に関する動画を見るようになりました。

まだまだ続く巣ごもり生活ですが、落ち込まないように、気分転換しながら乗り切っていこうと思います。

一日も早くコロナが収束し、また皆さんと笑顔でお会いできる日を心待ちにしています。



「 “まちの活性化に向けて”
頑張っています！ 」

吉村 悦子 会員



飯盛山頂に展開する戦国大名・三好長慶の飯盛城については、広く市民に知られるようになり、まちの歴史イメージの形成に大きな役割をもつようになっていきます。市民、団体、行政機関が一体となった10年間の飯盛城跡をめぐる種々の活動の成果であると考えます。

さらに本年（2021年）秋には飯盛城跡の国史跡（遺跡の重要文化財）指定が実現いたします。この機会をとらえ、飯盛城跡と三好長慶をさらに広く市民に周知するとともに、市外に広くわがまちの歴史遺産を発信することができればと考えております。

また、お城研究者である落語家の春風亭昇太師匠と中井均先生（滋賀県立大学教授）の「飯盛城トークショー」を令和4年4月3日に企画しております。そのほか、すでに実行している事業と連携しながら、いろいろな事業が実現可能であると考えております。

この度、「大東市にある飯盛城跡が国史跡に指定されることを祝して飯盛城跡の歴史を冊子に残し後世に伝える」プロジェクトの承認をいただきました。

この事業の実施を通じて「天下人・三好長慶」と「かつて首都であった」わがまちの魅力を広くアピールするとともに、まちの活性化につながればと思っております。

多くの皆さまのご支援ご助力をお願い申し上げます。



「～コロナ過で～」

樋口 榮二 会員



朝8時に会社に出勤して、大東・門真など仕事場を回って2時頃に自宅に帰り、1時間30分位、家の近所を歩いています。

人間は、樂をするとたちまち怠け癖が付きますので、自分に厳しく身体を鍛えています。

それが夕食を美味しく食べる事ができ、今は、夫婦2人の生活ですが、新婚の様です。（フウ・フウと笑って現在の生活スタイルです。）



「近況報告」

梅木 京子 会員

株式会社キキョウコーポレーションは
化粧品の製造と雑貨の検査、包装等を行っています。
キキョウコーポレーションの名前は、
ウメキ キョウコからウメを取って名付けました。

昨年2月末から大手化粧品会社からの1年間の受注ストップが
現在も継続しています。

他社のシミ等に効果のある製品は新商品の発売も有り好調です。
マスクをするので日焼け止めやファンデーションをしないのと、
ステイホームでお肌のお手入れをする時間が出来たからかと思えます。

アルコール容器の組立は昨年から増産依頼がありましたが
最近落ち着いています。

海外からの入荷が困難な物が、
金曜日に資材が入り月曜日朝一番に欲しいと無理をお願いされる事もあります。

しかしコロナの影響が無く、従業員も元気で
仕事が切れずにあるので、感謝しています。



「忘れてはいけない世界のトップの レベルに会おうという意気込み」

大川 卓也 会員

医師、音楽家、建築家、スポーツ選手など自らの健康や趣味の世界において、世
界のトップにあうことは「しあわせの極み」である。

私の音楽関係では世界屈指のオーケストラであるウィーンフィルの首席チェロ
奏者のタマッシュ・ヴァルガ、クラリネット首席のマティアス・ショルン、ハー
プ首席のアンネリーネ・レナオエルツと知り合いになった。Facebookで偶然に私
をみつけてくれて、友達になれた。しかし、そこから更に好友関係を深めるには
食事をしたくらいでは弱い。3人とも日本人の演奏家の5～10倍のギャラを取るだ
けの価値は必ずみせてくれる。その成果は、日本の音大生たちが単に音楽だけを
奏でるだけではない、感動を与える表現力をともなった豊かな演奏である。



希望、喜び、感動、兄弟愛、など愛の籠った使命感のようなものまで感じとれるものなのである。

一方、昨年9月30日、手術をしたことのない私が、いきなり初手術で脳に一円玉くらいの大きさの穴を2ヶ所開けて、脳の深層部深く（視床）に丁度子供用のお箸くらいの金属の棒を2本入れ、両肩の中に電池を入れて、脳を電池で刺激するパーキンソン病のオフ症状を劇的に改善する手術（DBS）を京大病院で受けた。手術までは、京大病院には知り合いもなかったが、無事大成功したのは脳神経外科と神経内科のトップクラスの先生のお陰である。

コロナウイルスに振り回されている昨今、愚痴や願っただけでは環境は変わらない。「世界のトップに会おうとする意志は常に持ち続ける勇気と覚悟」は、絶対忘れてはならない。



「新型コロナウイルス感染状況」

荒金 正之 会員

私の会社では今のところ新型コロナウイルス感染症に感染した者は一人もいませんが、やはり私の周りの知り合いや友人の中にはコロナに感染をした方がボチボチと出始めました。

やはり、確実にコロナの包囲網が迫ってきているように思い、戦々恐々とした日々を過ごしています。

奥様がコロナに罹ってしまい、家族全員が濃厚接触者に認定された方に2週間の隔離生活期間の状況を伺ったところ、自治体が用意してくれているホテルが満室で、空きが出るまでは自宅で待機するとの事でした。

しかし、食事をしない訳には行かないので、最低限のスーパーへの買い出しは行っていたそうです。

やはり、そういった方々が普通の生活環境の中にもおられる事を知りました。

テレビで連日「緊急事態宣言」という言葉を1年以上聞き続けると、緊張感の緊急感も無くなり「ああ、また言ってるわあ・・・」と言う気持ちになってしまっています。

「緊急事態宣言」の意味をYahooで調べてみました。



Wikipediaでは

緊急事態宣言（きんきゅうじたいせんげん）とは、自然災害、感染症（伝染病・疫病）のパンデミック、原子力事故などの災害や、戦争、テロ、内乱、騒乱など、健康・生命・財産・環境などに危険が差し迫っている有事（緊急事態）に際し、国家・地域の政府（地方公共団体を含む）などが、法令などに基づいて特殊な権限を発動するために、或いは、広く一般・公衆に注意を促すために、そのような事態を布告・宣言することである。

となっています。

つまり、国家の有事の時に国もがんばるけど一人一人も健康・生命・財産・環境などを守るために頑張っただけ。と言う事だと思います。

原子力事故や戦争、テロなどの時と同じような状況にあると言う事なのです。国や地方自治体の対応の上げ足ばかり取っているメディアはもう少しちゃんとこの事実を伝えて欲しいと思います。

先日、我が家のホットプレートのテフロン加工がいよいよ効かなくなり家電量販店に行ったところ、エディオンもジョーシンも閉店していて、仕方なく帰りました。なのに、パチンコ店はどこも閉店していません。

メディアは飲食店や映画館等が開店していると正義警察よろしくワーワーと報道するのにパチンコ店は一切取り上げません。

やはり、CMをバンバン流しているのに、テレビのスポンサー料が影響をしているのでしょうか？



日本のコロナワクチン接種がなぜ遅いのか

アメリカでは20年12月14日に接種が開始され、バイデン大統領はその1週間後に接種を受けて安全性をアピールしました。

イギリスでは21年1月9日にエリザベス女王夫妻が接種をされたと発表がありました。

日本での接種が遅れている理由を調べると聖マリアンナ医科大学感染症学講座の教授で、同大学病院感染症センター長である國島広之氏の記事がありました。

國島広之教授はその理由について3点を指摘されています。

まず、「日本人が従来からワクチンの安全性や有効性について慎重な国民性であること」

ワクチンの接種で感染症の発生や重症化を防ぐ免疫ができるが、好ましくない有害な反応の「副反応」が起きることがある。今回の「コロナワクチン」の副反応では、軽いものとして接種後に筋肉痛、頭痛、倦怠（けんたい）感などがあり、重いものには急な血圧低下や呼吸困難などを引き起こす「アナフィラキシー反応」というアレルギー症状があったと報告されている。

多くの国は、ワクチンには副反応のリスクなど不明な点があるものの、感染拡大を収束させるメリットの方が大きいと判断して早めの承認を進めた。

しかし、ファイザーやモデルナのワクチンは、ウイルスの遺伝情報を加工する新しいタイプのワクチンであるのに加えて、安全性などを調べる臨床試験（治験）の対象がほとんど白人で、アジア系が少なかった。



このため、日本の厚労省は20年12月18日にファイザーからワクチンの製造販売の承認申請を受けたが、事前に同10月から国内で日本人160人（20～85歳）を対象に、接種しても安全かを確認する治験を実施。「海外に遅れていても、安全性を重視」という姿勢を貫いた。厚労省は使用予定の3ワクチンについて、海外で使用されている実績も考慮して審査期間を短縮できる「特例承認」を適用し、通常よりは早い実用化を行いました。

ワクチンをめぐって日本では近年、子宮頸（けい）がんワクチンの副反応が問題となり、国と製薬会社に損害賠償を求める訴訟が起きた。コロナワクチンに対する厚労省の慎重な審査は、「もし後で副反応が出た時に、十分な審査を怠ったと批判されるのを恐れているから」とも言われている。

朝日新聞の世論調査（1月25日朝刊掲載）によると、「ワクチン接種が無料でできるようになったら」の問いに、「すぐに受けたい」は21%、「しばらくは様子を見たい」が70%、「受けたくない」が8%だった。やはり国民は、コロナワクチンにも慎重であるようだ。

日本のワクチン接種遅延の理由として、専門医の國島教授が指摘した2、3点目は、「感染症などの希少医薬品を開発できる製薬企業やベンチャー企業が日本に少ない」「新規医薬品の治験に関わる医療機関の体制が弱い」ことだ。

日本は50年ほど前まではワクチンの研究や製造が盛んだったが、その後は接種対象だった子どもが減り、また接種をめぐる訴訟も続いたため、ワクチン業界が弱体化してしまった。特に感染症は突然、流行し、製薬企業がワクチンを開発して実用化できるまでに流行が終息してしまうこともあるので、感染症ワクチンを手掛ける企業が極めて少なくなってしまった。

こうして国内使用の半分以上は輸入ワクチンとなった。コロナワクチンも結局は、外国頼みとなったのだ。ワクチンの確保が遅れば、また国民への接種時期が遅れることになってしまう。

日本国内でも数は少ないが、コロナワクチンの開発は行われている。ベンチャー企業「アンジェス」、大手の塩野義製薬が臨床試験（治験）の段階まで来ており、塩野義製薬は年内にも供給開始と報道があった。国民の健康や安全を確保するためには今後も国産ワクチン製造は不可欠で、政府がこうした開発企業を支援していく必要がある。

日本のワクチンの治験体制は弱い、特に今回のような緊急性を要する場合、もっと柔軟に、迅速な審査を可能とするシステムを作っていくことが必要だ。ましてや今年度は東京オリンピック・パラリンピックの開催イヤーで、他のどの国にも増して早急に新型コロナを終息させる責任がある。安全性との兼ね合いもあるが、今後は通常の審査過程の一部を省略するなどの検討も進めていくべきだろう。と書いてありました。

一日も早い終息を心から願っています。

